

姫路市立中学校・義務教育学校 部活動改革（部活動地域移行）について【概要】

可能性は無限大∞ ～ブカツから姫カツへ～

【めざす姿】

生徒 多種多様なスポーツ・文化芸術活動に参加できる機会の確保

地域 多世代の交流による新たなコミュニティの創出や絆の強い地域づくり

学校 学校の働き方改革の推進による、学校教育の質の向上

【本市の基本的方針】

「**休日**の学校部活動」にかわり

「**新たな地域クラブ活動（姫カツ）**」を展開します

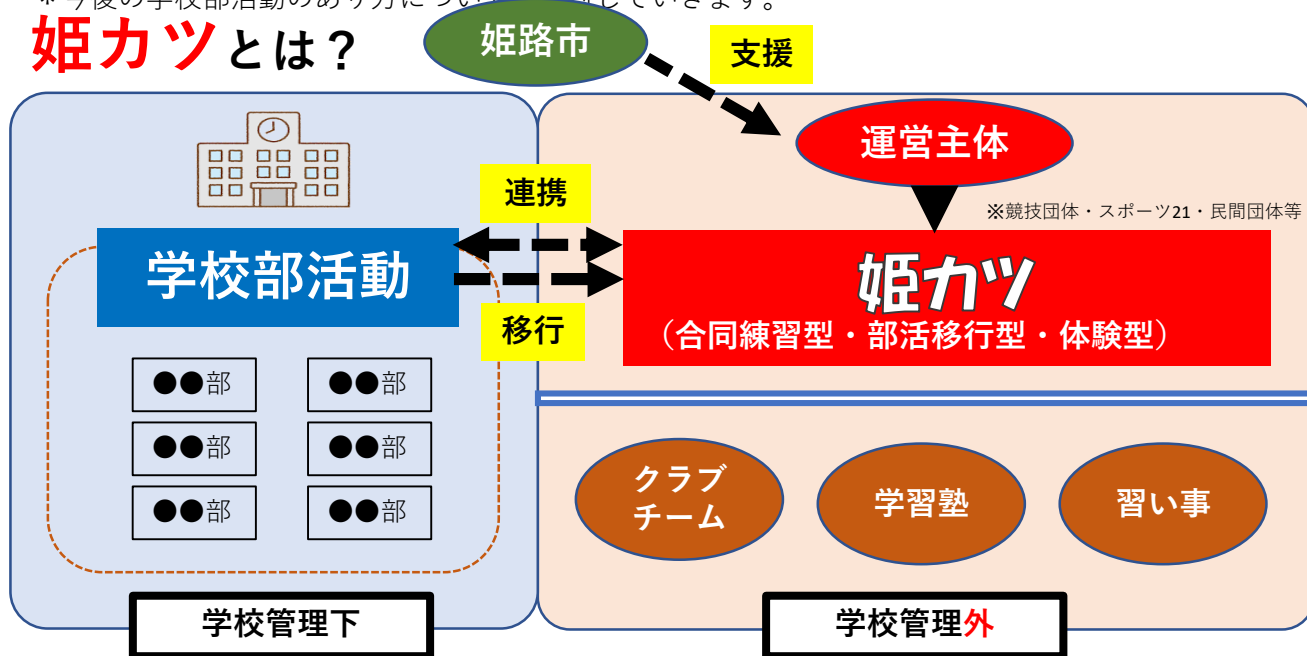
	令和8年総体まで (2026年)	令和8年総体以降 (2026年)
平日	学校	学校 これまで通り学校で行う
休日		地域 姫カツなど学校管理外の活動

* 令和8年度の部活動が1・2年生(現小学校4・5年生)主体になった段階で、休日の活動を移行します。

* 学校部活動がある場合、中体連主催大会には、学校部活動として出場することを基本とします。

* 今後の学校部活動のあり方についても検討していきます。

姫カツとは？



姫カツのモデル構想

モデル	内容	大会出場
合同練習型 地域クラブ活動	<ul style="list-style-type: none">・全市やブロック単位で休日の合同練習・大会のない週休日やオフシーズンに実施	学校
部活移行型 地域クラブ活動	<ul style="list-style-type: none">・学校と地域等が協議・連携して部活動を移行・中体連主催大会への参加申請も可能・平日の完全移行も想定・各小学校区のスポーツ21への加盟	学校 または 地域クラブ
体験型 地域クラブ活動	<ul style="list-style-type: none">・中学生向け、または中学生が参加可能な講座・教室の開設・多世代型、レクレーション型、複数種目など多様な形式の活動も想定	なし



Q.大会やコンクールはどうなるの？

A.まずは、休日の学校部活動を地域クラブ活動に移行することを目指しています。ただし、大会やコンクールは、これまで通り、学校部活動として出場することも想定されるので、各競技の大会等に影響がない休日の活動を中心に移行することになります。



Q.どのような人が指導するの？

A.各競技団体から派遣された指導者、元教員、地域クラブ活動で指導を希望する現職の教員などが指導者として関わる予定です。また、各競技の指導者資格を持つ方や競技経験がある人など、地域の方々も指導者やスタッフとして関わってもらえる体制づくりを目指しています。



Q.子どもたちにとってのメリットは？

A.学校の枠を超えることにより、子どもたちの選択肢が広がることになります。また、一定の活動人数が確保されることで、団体競技が成立し、専門的な指導でスキルの向上も期待できます。市内の部活動にない種目のスポーツ・文化芸術活動の創設や、大会出場を目的としない健康・レクリエーション志向の活動、中学生以外の多世代交流型の活動などの実現も検討しています。



Q.保護者の費用負担はあるの？

A.「姫カツ」としての地域クラブ活動は、現在、姫路市の補助金が交付されています。保護者の方に一定額の負担をしていただくことを想定していますが、少しでも負担額を抑えるために、適切な会費設定や学校施設・備品の使用、ボランティアの活用などを検討していきます。

